

京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2014年7月30日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第10号

春まつり実行委員会と登録団体交流会



今年もたくさんの方々が訪れた、東九条春まつり

去る4月12日(土)、京都市地域・多文化交流ネットワークセンターにおいて、第3回東九条春まつりが開催されました(春まつりのレポートは4頁をご覧ください)。

この東九条春まつりは毎年、ネットワークサロンの登録団体の皆さんが委員となって組織された実行委員会によって主催・運営されています。

実行委員会は春まつりの直前まで7回にわたって開催され、それぞれの団体が持ち寄った様々なアイデアを、ひとつひとつ形にしていきました。

さらに、今年は春まつり終了後の4月25日(金)に実行委員会の反省会をもち、併せて登録団体相互の親睦を図るため、初めて本格的な登録団体の交流会を開催しました。

現在、ネットワークサロンに登録している団体は50を数えます。すでに団体間で密接な関係が築かれている場合もありますが、一方で、相互にほとんど交流がない団体や、これまでゆっくりと意見交換をする機会を持てなかった団体もあります。今回の登録団体交流会は、そうした団体間が改めてつながり、それぞれの活動内容や課題を確認し合う場となりました。

ゆるやかな提携関係でつながるネットワークが有効に機能するためには、お互いの「顔が見える」関係が欠かせません。この機会を通じて、登録団体のネットワークをより豊かなものにする事で、多文化交流を推し進め、地域の様々な課題と向き合っていくことができると願っています。

(本郷 浩二 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン)

登録団体
共同企画

柳原銀行記念資料館 × ネットワークサロン
世界の料理教室 沖縄篇



具材をたっぷり使った「ソーミンチャンプルー」

2014年3月、当館で、沖縄に関する企画展「琉球・沖縄と京都の「つながり」～自治・自立と人権のまちづくりを目指して～」を開催致しました。それに合わせて、料理から文化に触れてもらおうと、ネットワークサロンで開催されてきた世界の料理教室に、共催として、3月29日に沖縄料理の会を組み込んでいただきました。

申し込みも定員いっぱい

いとなり、講師として予定していた方以外にも、京都沖縄県人会から手伝いに来ていただき、総勢4人で指導していただきました。

レシピを見ながら班に分かれて、ソーミンチャンプルー、にんじんシリシリなどを、参加者のみなさんは県人会のみなさんと共に、和気あいあいと作っていらっしゃいました。

もちろん作った後は、食べるのも楽しい時間です。食事のあとは、県人会の方が自宅で作ってきてくださったサーターアンダギーを参加者のみなさんに振る舞ってくださって、さんぴん茶と一緒にいただきました。参加者のみなさんにも好評でした。



美味しく出来上がりました

(木村 理恵 柳原銀行記念資料館)

登録団体
共同企画

柳原銀行記念資料館 × ネットワークサロン

特別企画 エイサー体験

2014年3月に開催した沖縄に関する企画展「琉球・沖縄と京都の「つながり」～自治・自立と人権のまちづくりを目指して～」に合わせ、ネットワークサロンのホールをお借りして、文化に触れていただく企画として、エイサー体験を行ないました。

京都琉球遊ゆう会のみなさんを講師にお招きしました。まずは一通り演舞をしていただきました。三線の生演奏に



京都琉球遊ゆう会の皆さんによる演舞

合わせての締太鼓、大太鼓などを叩きながらの勇壮なエイサーを見せていただきました。それから、参加者から募って、締太鼓の叩き方を講師のみなさんから教わったり、カチャーシーという手踊りを教わったりしました。

最初は申し込み人数が少なく、どうなるかと心配したものの、ちょうど時間的に参加できたタイムケアれいんぼうのメンバーや、午前中に料理教室の講師をしていただいた県人会のみなさんが残って参加していただいたり、企画展を見に来た方が飛び入りで参加してくださったり



締太鼓の叩き方を教えていただきました

したので、最後は、なんと総勢50名も参加してのエイサーとカチャーシーの乱舞となりました。

資料館では、ケースの中に資料を入れ、パネルでの説明になってしまうので、このような躍動感は伝えきれないところがあります。また、機会があれば、このようなコラボ企画をやっていただけると幸いです。

(木村 理恵 柳原銀行記念資料館)

第3回東九条春まつりが開催されました！



大勢の方が見守る、春まつりメインステージ

マダンやエルシステマ無償の音楽教室、チングドゥルなどネットワークサロンの登録団体とともに、地元・東九条の凌風学園吹奏楽部や、京都国際学園舞踊部、吉祥院子ども六斎会、京都朝鮮初級学校舞踊部などが見事なパフォーマンスを披露してくださいました。地域福祉施設の音楽療法でも、ステージと客席が一体となって盛り上がりました。

文化祭・写真展のコーナーでは、地域福祉施設利用者の作品など、各登録団体が趣向を凝らした展示を行ったほか、「地域をつくった人びと」と題する登録団体共同展示では、より良い地域社会を作り上げるために努力を重ねてきた個人・団体による取り組みの成果を発信しました。また、昨年好評だった「映像の部屋」を今年も設置し、東九条地域に関わるドキュメンタリーなどを上映しました。

屋外に設置された出店や体験コーナーも、「地域交流・多文化交流」を基本コンセプトに据えることで、他のおまつりとはひとあじ違う、多彩なものとなりました。

東九条春まつりは「地域交流・多文化交流」をめざす様々な団体がアイデアを持ち寄り、実現する手作りのおまつりです。今年も参加者一人ひとりが主役となって、新たな出会いと交流が生まれていました。

4月12日（土）、京都市地域・多文化交流ネットワークセンターにおいて、第3回東九条春まつりが開催されました。東九条春まつりは、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンの登録団体でつくる実行委員会が主催しています。

当日は昨年に引き続き好天に恵まれ、東九条地域はもちろん、京都市内外より多くの方々にご来場いただきました。

メインステージでは、東九条



第3回東九条春まつりのチラシ

〈シリーズ〉登録団体との連携・紹介 (10)

NPO 法人 アジアの希望 300

NPO法人アジアの希望

300は、日本にいる留学生の為の進学、生活面に関してサポートをし、国内外の人々に対し、国際協力活動、教育、文化、芸術振興に関する事業を行うとともに、保健、医療、福祉活動を行い、日本社会とアジアをはじめ世界の平和に貢献する目的で立ち上げた団体です。



NPO 法人アジアの希望 300 の皆さん

現在の活動は、2週に

1度「心と体の健康サークル」を行い、地域の高齢者、障がい者、孤立しがちな方々との交流を深めています。スタッフはほぼ全員留学生。とても良い雰囲気、参加している地域の方からは「毎週やってほしい」との要望があります。

参加者の中には、毎回みんなでできるゲームやクイズを考えてきてくれる方もいて、スタッフも地域の方も共に助け合って、楽しい時間を過ごしています。留学生たちは、地域の方々との交わりを通して、留学だけではなかなか学べない日本を体験しています。



「心と体の健康サークル」の活動

この他の活動は、地域清掃、異文化交流会、留学生支援バザー、進学相談、スポーツ大会、などを行っています。どの活動も、どなたでも参加できます。

心と体の健康サークルは第2、4木曜午後1時半からです。

パンフレットを京都市地域・多文化交流ネットワークサロンに置いています。是非ご覧下さり、ご参加ください。

(姜 直子 NPO法人アジアの希望 300 副理事)

ネットワークサロンの日本語教室

京都市地域・多文化交流ネットワークサロンでは、地域社会における多文化交流・多文化共生をめざす取り組みの一環として、外国籍住民の方々を主な対象とした日本語教室を開設しています。今回はこの日本語教室の様子をご紹介します。



日本語教室参加者の皆さん

京都市地域・多文化交流ネットワークサロンで行われている日本語教室について紹介します。

現在の日本語教室は1年前に3、4人ぐらいのフィリピン出身の女性たちが集まって始まりました。皆さん、単語はいろいろご存じで、日本語で話すこともできる方ばかりでした。ひらがなも書いて読めるし、人によってはカタカナも漢字もで

きるという方もおられました。

今は、多い時には5～8人ぐらい集まり、単語と単語をつなぐ言葉（てにをは）や、文章にすること、丁寧な言葉、電話の対応、本を読むことなど、それぞれが苦手にされていることを学習しています。

皆さんとても明るく前向きで、意欲的に学習されていて、知らないことが分かった時、大きな声で「知らなかった!」「すごい!」「わかった!」と言われます。あっという間の楽しい1時間です。

皆さんと一緒に日本語を勉強するなかで、改めて日本語の難しさに気づかされています。タガログ語と英語を話されるフィリピンの方々は、すぐに溶け込んでいかれます。今では、いつでも、どこでも、誰とでも会話を楽しむことができるようになりました。でも、日本で暮らす外国人にとっては、やっぱり面倒でやっかいな日本語を使いこなさなくてはならず、皆さん四苦八苦しながら日本語習得に時間をかけておられます。素敵な日本語と同時に、素敵な日本の文化も知っていただければうれしいです。

日本語教室は現在、毎週木曜日の午前11時から行っています。興味のある方はどうぞご参加ください。

(村田 牧子 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン)

〈サロン利用者の声〉

日本語教室参加者の皆さんに、感想を伺いました。

続いて、日本語教室に参加されている方々に感想を伺いました。今回お話を聞かせていただいたのは、鈴木ルーシーさん、白波瀬ジェマリンさん、浦上アンリさんの3名で、皆さんフィリピンの出身です。

——皆さんは日本に住んでどれくらいになりますか？

ルーシーさん：わたしは日本に来てもうすぐ5年になります。

ジェマリンさん：わたしも同じくらいです。

アンリさん：わたしは9年です。

——日本語教室にはいつから通っていますか？

ルーシーさん：1年ぐらい前からです。

ジェマリンさん：わたしは前の日本語教室（現在の日本語教室の前身で、2012年から実施）の頃から通っています。

アンリさん：わたしはまだ2ヶ月ぐらいです。日本語は話せますが、文字は、ひらがなもカタカナも分かりませんでした。

——日本語教室の感想をお聞かせください。

ジェマリンさん：とても楽しいです！

アンリさん：知らなかったことを、たくさん知ることができました。

ルーシーさん：わたしは日本語で会話をすることはできます。でも、日本の文字はとても難しいです。ひらがなと、カタカナと漢字があって、覚えることがたくさんあります。わたしはひらがなとカタカナも覚えていますが、日本語教室に通って、漢字の読み書きも少しずつできるようになりました。それがとても楽しいです。

ジェマリンさん：村田先生はとても優しいので大好きです。教え方も、とても上手だと思います。

——これから、日本語教室でどんなことを学んでいきたいですか？

ルーシーさん：もっともっと難しい漢字や言葉を勉強したいです。人とたくさん話ができるようになるのがうれしいです。

ジェマリンさん：日本語教室では言葉だけでなく、日本の習慣や文化も勉強することができました。日本のことをもっともっと知りたいです。



お子さんを連れて参加される方もいます

〈サロンへのメッセージ〉

希望の輝きを増した、東九条という街

2013年はネットワークサロン主催の学習会で2度お話しする機会をいただきました。それぞれのテーマは、7月20日のボランティア講座、『こころ病むとき、「生きづらさ」とは？—統合失調症の理解から—』と、9月20日の「東九条を知る学習会」での『子どもの心のSOSへの気づき—心を見わたせる心を育てる—』でした。

私は京都で生まれ育った在日韓国人3世ですが、1990年の第10回東九条現場研修で東九条という街に初めて出会いました。この時の出会いや体験に後押しされ現場研修の直後に日本社会でも本名で生きることを決意し、現在に至ります。それから24年経ち、もう一度東九条に出会う時、以前には見えなかった東九条の「重み」が見えてきました。

1点目は東九条があらゆるマイノリティにとって暮らしやすい街であるという点です。若い時の私にとって東九条は「在日同胞の多住地域」でした。住民や支援者の認識も概ねそうであったと思います。しかし今、いわくら病院の同僚などは、「東九条って京都で一番障害者が暮らしやすい地域ですよ」と言います。多数者と少数者、そして少数者の中の少数者、あらゆる「違い」に目をつぶらず向き合ってきた、東九条に生きる皆さんの取り組みの積み重ねが東九条をそのような街に育ててきたのだと思います。

もう1点は東九条が多文化交流実践の希望であるという点です。20年前に較べて日本社会は大きく変質し、雑誌・書籍・ネットでは嫌韓や在日に対する憎悪の文言を見ない日はありません。2009年、東九条にほど近い京都朝鮮初級学校の子どもたちが集団から耳を疑うような言論の暴力を浴びせられた事件は私たちを在日の人生観・生活観を変えました。何世代経ても自分たちは被差別者でしかない、日本社会で胸を張って生きてはいけない、そのような思いがよぎる中、東九条には日本人・朝鮮人・様々な国の人が共生する当たり前の毎日があり、歴史が生んだこの街を直視しようとする日本人がたくさんいます。その希望の輝きは20年前より貴重で眩しいものになっていると感じています。

在日に限らず、差別や社会による暴力は大人とその家庭を歪め、家庭の歪みは子どもの成長を歪めます。私は精神科医の仕事の中でも、そのように歪んだ成長の末にこころを病んでしまった人の力になることを自分のライフワークとしています。精神科医として日々の診療で、東九条に生きる人たちを陰で支える役の一部を担っていればこんなにうれしいことはありません。

チエ ヒョンイン
(崔 炯仁 いわくら病院精神科医)

- 所在地: 〒601-8006 京都市南区東九条東岩本町 31 (京都市地域・多文化交流ネットワークセンター内)
- TEL: 075-671-0108 FAX: 075-691-7471 E-Mail: salon_kyoto@ck9.so-net.ne.jp
- 開館時間: 9時~17時 WEB サイト: http://www016.upp.so-net.ne.jp/k_salon/
- JR 京都駅・京阪東福寺駅・市営地下鉄九条駅 徒歩 15分
京都市バス 42・202・207・208 系統 九条河原町下車 徒歩 10分